

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	明海大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	メイカイダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F111310102138
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	埼玉県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	キャリアデザイン
	学部・研究科等名	外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部
	担当教職員名・役職	内苑孝美・キャリアサポートセンター長、総合教育センター・大黒章子准教授
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	406
	受入企業等数	300
	受入企業等名	株式会社エス・ティー・ワールド、リゾートトラスト株式会社、ルートイングループ、株式会社FEEL CONNECTION、株式会社LAVA International、株式会社イプサ、株式会社トーシンパートナーズ、株式会社ベルパーク、ライクスタッフィング株式会社、株式会社あきんどスシロー、株式会社オオゼキ、日産プリンス長野販売株式会社、株式会社テクノ・セブン、スターツグループ、Sky株式会社、株式会社いなげや、株式会社東京インテリア家具、オープンハウスグループ、株式会社TOKYO BASE、株式会社カインズ、株式会社ニトリ、株式会社ケーヨー、株式会社ケースホールディングス、株式会社グランベルホテル、株式会社ファンケル、株式会社システムシンク、株式会社ココスジャパン、プリモ・ジャパン株式会社、他
	インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	—
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	—
	1-3.上記回答内容に関する詳細	学生が参加した企業によって異なるので例を2つ挙げる。①オンラインで実施:企業と今後の会社のビジョン、仕事の説明の後、ブレイクアウトセッションでグループワークを実施する内容。②対面で実施:各事業の細かい事業内容や職種の説明を受けオフィスから移動し、自社工場を見学する内容。
	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している
	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
	7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している	7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している	8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	—	

項目	確認事項	届出内容
要素②	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 4単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	<p>キャリアデザインを履修している3年次を対象に、最低、1社あたり1日以上のインターンシップに、3社分参加することを成績評価の対象としている。事前学習を踏まえて、学生が主体的にインターンシップを探索し、参加手続きを経てインターンシップを体験する、ことにしている。なお、参加企業、時期・期間、プログラム内容については、夏季休暇前後に教員に提出させている。</p>

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	<p>1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている</p> <p>2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている</p> <p>3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている</p> <p>4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している</p> <p>5.その他</p>
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	<p>①学生間で自己PRに相互アドバイスした後、キャリア科目担当教員が指導する。</p> <p>②グループディスカッションの体験・練習する。</p>
	3-2-2.該当する事後学習の内容	<p>1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている</p> <p>3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている</p>
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	—
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	インターンシップ中に、学生が希望に応じて大学等において、キャリア科目担当教員と面談を実施している。また、状況に応じて、電話でのヒヤリングやアドバイスをを行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	キャリア科目「キャリアデザイン」の授業内で実施している。インターンシップの現状(実施企業や社数、プログラム内容や傾向、先輩の参加社数や経験談など)を調査して把握し、企業がインターンシップを行っている目的や背景を理解する。そして、ケーススタディにより、自分がインターンシップに参加する目的を言語化し、その目的を達成するインターンシップを探索する方法を考え共有する。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	インターンシップに参加した企業から3社を選び、参加日程、選考の有無、参加理由、参加の形式(対面・オンライン)、インターンシップの内容を整理してもらう。さらに、その3社の中から最も印象に残った1社を選び、事前準備の状況を確認後、インターンシップで成功したと思うこと・失敗したと思うこと、自分の適性に対する感触、今後の就職活動にどうつなげるか、を言語化するという内容である。以上の内容を専用のシートにまとめ、最終的には、シートの内容を、グループやクラスで共有する。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ中に確認したいことや疑問・不安がないかを面談でヒヤリングする。また、インターンシップの具体的な内容を聞き、対処に困ったケースや社会人との関わりなどに対するアドバイスをする。

項目	確認事項	届出内容
要素④	4-1. インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1. はい
	4-2. 該当する教育的効果を測定する仕組み	1. アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2. 「4. その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	—
	4-3. 上記回答内容に関する詳細	事前学習実施前と事後学習実施後にアンケート(5件法)を実施し、情報収集・外的活動の量や関心性・自立性・自己内省等の変化を定量的に確認している。また、インターンシップの報告書で、自分で考えた参加目的の達成度を自己評価と得られたことを定性的に確認している。これらを活用し、その後の指導を組み立て実施している。
要素⑤	5-1. 一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1. はい
	5-2. 該当する実施期間	4. その他
	5-2. で「1. 連続した5日間以上」を選択した場合	—
	5-2. で「2. 事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	—
	5-2. で「3. 複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	—
	5-2. 「4. その他」の実施期間の内容	学生がどのインターンシップを選択したかにより、5-2の1,2,3いずれかに当てはまることとなる。報告書の分析では、2と3のケースが多く見受けられる。
	5-3. 上記回答内容に関する詳細	学生の選択により、1社あたり5日間以上の場合もあれば、1社あたり1日で3社合計で3日という場合もある。また、1社あたり2日や3日のケースもある。形式は、オンライン、対面、両方のケースがある。
要素⑥	6-1. 大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1. はい
	6-2. 該当する大学等と企業の協働取組の内容	3. 企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4. 受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2. 「7. その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	—
6-3. 上記回答内容に関する詳細	大学と連携した企業に限るが、学生の受入れに当たり、本学のインターンシップの目的や期待される効果などを、企業担当者と本学教職員とで、事前打ち合わせし共有している。また、本学の学生の状況を伝え、課題解決につながり、企業の目的も達成できるプログラムを準備してもらっている。評価は、各企業の基準によるものを共有し指導に活用している。	
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://syllabus.meikai.sugawara-p.co.jp/web/show.php">http://syllabus.meikai.sugawara-p.co.jp/web/show.php</a>
問いへ	大学等名	明海大学浦安キャンパス
	担当部署名	総合教育センター
	担当者役職名	准教授

項目	確認事項	届出内容
問い合わせ先	担当者氏名	大黒 章子
	電話番号	047-355-5126
	メールアドレス	<a href="mailto:a-okuro@meikai.ac.jp">a-okuro@meikai.ac.jp</a>